

令和2年第1回相馬市総合教育会議議事録

1 開催日時

令和2年11月17日（火）

開会 午前10時00分

閉会 午前11時15分

2 開催場所

相馬市役所 2階 中央会議室

3 出席した構成員

相馬市長	立谷秀清
教育長	福地憲司
職務代理者	宗形明子
教育委員	森陽子
教育委員	関根進
教育委員	菅野明彦

4 欠席した構成員

なし

5 事務局関係

（相馬市）

企画政策部長	阿部勝弘
企画政策課長	高橋裕宗
企画政策係長	遠藤智

（相馬市教育委員会）

教育部長	神戸伸一
生涯学習部長	赤石澤珍夫
総務課長	只野聡一
学校教育課長	松本一宏
学校教育課主幹	目黒信浩
中央公民館長	但野直治

6 傍聴人

なし

7 協議事項

（1）重点的に講ずべき施策について

- ① 学校における新型コロナウイルス感染症対応について
- ② RSTの取組について
- ③ 社会教育の充実について

（2）その他

8 議事の経過

1 開 会（企画政策課長）

2 市長あいさつ

3 協 議

（1）重点的に講ずべき施策について

①学校における新型コロナウイルス感染症対応について

○協議結果 偏見や不安を無くすため、情報開示をしっかりと行う。

○協議内容

松本一宏学校教育課長 （資料により説明）

立谷秀清市長 教育現場で2件の感染が発生し、私なりに方針を明確にして指示したわけだが、マニュアルで規定できない部分、その場で判断しなければならない部分があった。そのような部分を除けば、今回我々がとった行動は、コロナ対策としては、ノーマルな対応だと思う。

今後も住民、父兄、学校関係者に不安を与えないために、こういった対応をしているか情報を開示していく。情報開示したうえでしっかりと説明することで、偏見と不安を無くしていきたい。また、情報開示並びに検査を拡大的に実施することで徹底的に封じ込めを行う。とはいえ子供たちの感染リスクについては、極力抑える努力をする必要がある。

②R S Tの取組について

○協議結果 補助金や教育復興子育て基金を活用して事業を実施していく。

○協議内容

松本一宏学校教育課長 （資料により説明）

立谷秀清市長 予算については、独自の取組とすれば教育復興子育て基金を使うことも良いと思う。2年程度経過したら、新井さん※1に取組状況を見てもらう必要がある。

I C T教育になり紙の教科書に比べて読みにくく、しっかり読まない傾向が出ている。そのため、教科書を読み込む能力を付ける必要がある。

予算的なことは、これに使える補助金があれば利用する、無ければ教育復興子育て基金を使うことも考える。

※1 新井紀子氏（一般社団法人教育のための科学研究所 所長）

③社会教育の充実について

○協議結果 公民館事業については、人員体制（社会教育指導員）を震災前の体制に戻していきながら、公民館活動を震災前の内容を目標に充実させていく。千客万来館でのワンストップ化のため、中央公民館、商工観光課、観光協会の協働・協力をしっかりと進める。

○協議内容

但野直治中央公民館長 （資料により説明）

立谷秀清市長 公民館のかつての活動を再開することは、非常に良いことと思う。

P D C AサイクルでもI S Oでも一緒だが目的を明確に出す。活動を再開することが目的ではなく、活動の目的が何なのかを考えなければいけない。だから、そ

こを強く詰めていってください。

中央公民館と観光協会の連携についてだが、千客万来館は、みんなで協働・協力してワンストップになるように作ったが、やってみたら縦割りになっている。千客万来館に活気がない原因はそこにある。今回進めようとしていることは、千客万来館で元々やろうとしていたことだから、しっかり進めてほしい。

宗形明子教育委員 社会教育指導員の重要性は理解できたが、なぜ仮設住宅での支援事業が完了した時点で中央公民館に再配置しなかったのか？

但野直治中央公民館長 震災後は、中央公民館が耐震性の問題で建て直しとなり、教室活動が中止されていた。千客万来館の完成後も、一部の教室活動が再開されていなかったため、そちらの再開を優先した。教室活動が軌道に乗り、今回の課題も出てきたので、再配置を行い、社会教育活動を進めたい。

立谷秀清市長 中央公民館が無かったのも、仕方ない。しかし、もう少し早く再配置しても良かった。

森陽子教育委員 社会教育指導員が増えた場合、現在の事務室のスペースでは狭くないか。

立谷秀清市長 事務室の隣の倉庫が元々会議室の予定だったが、倉庫として使用しているため場所がない。今のところは、荷物整理をすることでスペースの確保に努めてください。別棟で倉庫を建てるかは必要に応じて今後検討していく。

(2) その他

宗形明子教育委員 市町村対抗駅伝で今年も市の部で成績が良くなかったが、てこ入れをするつもりはないのか？

立谷秀清市長 選手が努力した結果なので、支援はしていくが、順位にこだわるつもりはない。

福地憲司教育長 4月に着任してから相馬市の教育課題について考えてきた。

1つは、教育側で、将来的に子供たちの学力に直結する子供たちの読解力の育成、もう一つは、生涯学習側で、公民館活動が他市と比較して改善が必要だと思った。今回、教育会議で議論していただきありがたいと思うが、問題はこれを受けてどういった成果を上げるかだと思うので、次年度以降、今回立てた計画を検証しながら成果を上げていきたい。